

行政訪問最終回帯広市

訪問の様子と

行政福祉担当者に向けた研修のお知らせです

行政機関訪問の最終回は帯広市に伺いました。

訪問の様子と、今回の町村周りの集大成として、行政機関訪問に関する情報収集の結果をお伝えする準備も整えている状況です。

訪問の様子とそこのご案内を合わせてご報告いたします。

訪問では、聞き取りアンケートのほかに、帯広市自立支援協議会の話題、就労・社会活動部会の今年度の方針まで、幅の広い打ち合わせとなりました。



帯広市内には50か所を超える就労系障がい福祉サービス事業所があり、事業所の状況が見えなくなっている課題があるという話を伺いました。社会福祉法人の事業所、企業の立ち上げによる事業所と色が分かれ、多様性が出てきたことが、ここしばらくの雰囲気です。また、減少していた就労移行支援事業所が3年ぶりに増えている状況に対し、今後はより支援の質が向上し、障がい

者雇用への適切なマッチングがされ、企業就労が進んでいくことへの期待をしたいとのことでした。

就労・社会活動部会については、今年度は開始時期が遅れていることもあり、年2回の開催とすることになりました。昨年3月に延期となりました、「施設外就労」についても話題提供の機会を設ける予定です。10月中旬の開催を検討しています。

19市町村を訪問し聞き取りを行った情報の提供と各市町村が抱える課題に関して、行政福祉担当者を対象に研修を行うことへのご協力をいただくことになりました。中核となる市として会場提供をいただくほか、3月に就労系障がい福祉サービス事業所を対象に行ったアンケート調査の情報提供もいただきます。十勝管内の行政福祉担当者のみが一堂に会して情報共有を行うことは、「記憶の中では前例の無い取り組み」とのこと、期待も高まっているところです。



課長の三品さん（中央） 課長補佐の梶さん（右） 中川さん（左）にお話を伺いました

19市町村行政機関訪問を終え、今まで見ていなかった地域の抱えている課題や好事例を知ることができました。制度が毎年のように見直される中、行政として判断しなくてはならないことも沢山あります。制度に則った行政手続きを行う役割と、市町村の状況に応じた独自性や裁量を検討することについては、皆さんが関心を持つところだと思います。

我々が皆さんのところに伺い感じた感想は「各市町村で行っている効果的な取り組みを、同様の悩みを持っている他の市町村にお伝えすれば解決策が見出せるかもしれない…」という事例が沢山あったことです。様々な課題に対し、皆さんがお持ちのノウハウを共有する場を設定できるのは、地域の就労支援体制づくりの役割を担っている我々の使命と感じています。

その場の提供として帯広市のご協力の元、8月31日に「**全十勝の状況報告と現状課題に関する情報交換交流会**」を行う運びとなりました。市町村ご担当の皆様には、アンケートに始まり、追加情報の提供依頼とご協力をいただいたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

交流会の内容は、追ってホームページにも掲載しますのでご期待ください。